

## 成熟社会への移行プロセス支援策 (時間経過の中で) 多様性のある住生活の確保

### <状況>

- 家族構成の多様化
  - 三世代、核家族の減少⇒単身家族、シェアハウスの増加
- 人口構成の多様化
  - フタコブラクダ型⇒ヒトコブラクダ型⇒持続型へ
- 居住地の多様化
  - 複数拠点居住制度の創出
- 老後の多様化・子育ての多様化
  - 老人施設+子育て施設⇒地域の中の「居場所形成」へ

### <課題>

- 求められる居住形態と住居形態の多様化
  - 空き地、空家の利用⇒基準法の運用、「保険」の活用、全国一律ではない部分の確保
- 適切な住み替えに支えられる地域循環居住へ
  - 住み替え支援策 (近居、一時居住 (災害対応、子育て、介護)、・・・)
  - その結果としての地域循環居住 (多様な地域住宅ストック構成の創出 (サ高住含む)、指定用途の多様化 (多様な地区計画、建築協定))
- 「記憶」の継承、地域の記憶集積プロセス⇒地域性、多様性の創出、靱性の高い日本社会
  - ヒューリスティックス・生態学的知 (ローカルノレッジ)・日々の営みの中で蓄積される知
  - ローカルな知識の集積 (地域空間の運用ルール)
    - 空間的集積 (地域内共有)
    - 時間的蓄積 (伝統として受け継がれる)
    - 集合的集積 (地域は違うが、同一体験者の共有)